

第7回 周南市スマートシティ推進協議会 議事要旨

■日 時：令和5年6月27日（火）15:00～16:10

■場 所：周南市シビック交流センター交流室1

■出席者：

所属・団体名	役職	氏名	区分
東京大学大学院 工学系研究科	教授	羽藤 英二	学識経験者
周南公立大学 福祉情報学部	准教授	児玉 満	
徳山工業高等専門学校 情報電子工学科	准教授	柳澤 秀明	
徳山商工会議所		船井 辰郎	関係団体 を代表する者
周南市体育協会	事務局主任	砂田 優一郎	
周南市コミュニティ推進連絡協議会		加藤 洋	コミュニティ組織 を代表する者
周南市コミュニティ推進連絡協議会	監事	黒神 充久	
山口県企画部デジタル推進局	デジタル統括監	田中 貴光	オブザーバー
周南市	ICT 推進 アドバイザー	山畑 泰浩	
周南緑地PFI事業者 (洋林建設株式会社)		山川 英一郎	

■配付資料

1. 第7回周南市スマートシティ推進協議会配席図
2. 周南市スマートシティ推進協議会委員名簿
3. 第7回周南市スマートシティ推進協議会資料
 - (資料1) 周南市の今年度の取組
 - (資料2) 統合型GIS導入に係る分科会設置について
 - (資料3) 今年度事業の活動方針及びスケジュール等について
 - (資料4) 周南緑地PFI事業について

■要 旨

1. 開会

(事務局)

- ・ 本日は、委員 8 名中 7 名の出席をいただいておりますので、周南市スマートシティ推進協議会設置要綱第 6 条の規定により、本会議が成立していることを報告させていただきます。
- ・ 会議の開催にあたり、本市企画部次長の行富よりご挨拶を申し上げます。

2. 挨拶

(事務局 企画部次長 行富)

- ・ 本日は大変お忙しいところご出席いただきありがとうございます。
- ・ 昨年度の協議会ではモデル地区における各回の協働プログラムや、スマートシティの実現に向けたまちづくりの進め方等について協議していただきました。
- ・ 本日は、今年度実施する事業の方向性や周南緑地の整備についての報告などを議題としています。
- ・ 皆様の忌憚ないご意見を賜りますようお願いいたします。

3. 新任委員等紹介

(事務局)

- ・ 昨年度出席してもらっていた周南市社会福祉協議会の山本委員に代わり、同協議会より伊藤委員に今後出席していただきますが、本日は欠席です。
- ・ 今年度より周南緑地 P F I 事業の受注者から洋林建設株式会社の山川様をオブザーバーとして迎え、今後出席していただきますので、一言ご挨拶をお願いします。

(山川オブザーバー)

- ・ 本事業の受注者より地元企業の洋林建設株式会社から参りました。今後も引き続きよろしく申し上げます。

(事務局)

- ・ 昨年度出席してもらっていた周南市 I C T 推進アドバイザーの藤原オブザーバーに代わり、新たに周南市 I C T 推進アドバイザーに就任した山畑様に今後オブザーバーとして出席していただきますので、ご挨拶をお願いします。

(山畑オブザーバー)

- ・ 4 月から周南市 I C T 推進アドバイザーに就任しました。
- ・ 自身がこれまで培ってきたノウハウや経験、デジタル技術を活用して、周南市のスマートシティ構想に貢献したいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

(事務局)

- ・ これからの進行は羽藤会長にお願いします。

4. 議題

(会長)

- ・ いよいよ第7回の会合を迎えました。
- ・ 昨年度は色々と迷惑をかけたこともあったかと思えます。
- ・ 今回決まった事業者には、私や市の事務局も入りながら今までの経緯も含め、問題点を共有し課題を克服することで、成果が上がりつつある周南市のスマートシティモデル地区事業、そして全体の計画について発展的な結果が得られるように頑張っていきたいと思えます。
- ・ それでは議事に入ります。議題1「周南市の今年度の取組」について事務局より説明をお願いします。

(事務局)

(「資料1 周南市の今年度の取組」に沿って説明)

(会長)

- ・ 今年度までの取組の結果、モデル地区にいろんな取組が溜まってきているという話と市域全体の取組についても一覧で確認ができたのではないかと思います。
- ・ また特に、周南公立大学との協業もありますが、教育についても重要な部分なので頑張っていきたいということ、野犬問題などこれまで議論してきたことについては、当然続けていくという形でスマホ講座等も含めて色々と取り組んでいくという話であったと思えます。
- ・ 今年度の取組についてご意見をいただければと思います。今年度初回ということもあるので、ぜひ皆さまからご意見いただけたらと思います。

(委員)

- ・ 野犬対策については、市の環境政策課でも取り組んでいると思えます。情報共有はしていますか。

(事務局)

- ・ 情報共有は適宜行っています。説明したえさやり監視の取組も環境政策課が主体で取り組むものです。

(会長)

- ・ スマートシティの推進においては、色々な部局との連携が必要となるため事務局においても日頃から様々な部署と情報交換しながら進めているように思います。
- ・ 委員の皆さまにおいてもお気づきの点があれば、肘をつつくようなこともしていただければよいと思いますが、市はチームとしてそのような心意気で進めているので安心して欲しいと思います。

(委員)

- ・ 先日、遠石地区でもスマートシティ推進課の方にコミュニティ組織の会議前にこれまでのスマートシティ推進に向けた取組を説明していただきました。もっと早く説明して欲しかったという想いも含め、コミュニティ組織の方々にもスマートシティ推進の進捗といった部分が伝わったのではないかと思います。
- ・ 今年度もワークショップ等を企画しているようなので、ぜひフィードバックしてもらいように事務局にはお願いしたいと思います。
- ・ 市の取組については、特に意見することはありません。

(会長)

- ・ ワorkshopについて、きっちりと入念に、地に足をつけて進め、フィードバックという視点を置いて進めていきたいと思います。

(委員)

- ・ オンライン手続きの部分について、学校施設のスポーツ開放使用申請のオンライン化は、市内全域で開始されるのでしょうか。また、開始時期はいつを予定しているのか教えてください。
- ・ 学校では、地域団体等ですでに予約がいっぱいだと思うが、それを一度バラして、オンライン化するのは中々大変だと思います。

(事務局)

- ・ 当該案件について、実証自体は昨年度モデル地区において実施しています。実証にあたっては実際に学校施設で活動されている団体の方にもご協力をいただいています。
- ・ 今年度から導入していくという話は聞いていますが、すべてを対象とするのか否かという部分については申し訳ありませんが把握できていません。
- ・ これまでの予約については、アナログで管理している場合もあると思うので、少し時間はかかるかと認識しています。

(会長)

- ・ とにかく進めていきたい思いは伝わってきました。
- ・ また進めていく中で問題が生じてくると思うので、そのあたりは協議会等でもチェックしてもらおうとよいと思いました。

(委員)

- ・ 周南市の取組については、特に意見はありません。
- ・ コミュニティにおける課題については、コミュニティと事務局の中で話していかれると思います。我々の立場としては、商工業者の団体ということもあるので、企業の力がいる際には協力したいと思っています。

(会長)

- ・ 商工会議所との連携は必須だと思います。
- ・ 今年度は教育に力を入れていくというところもあるとは思いますが、商工会議所やコンビナートもあり、スマートシティにはエネルギーなどの分野もあるので、商工会議所等のニーズも聞きながら取り組んでいけるよう、配慮してもらおうとよいと思います。

(委員)

- ・ デジタルデバイド対策については学校として協力できることがあれば協力したいと思っています。特に高齢者の方に向けたスマートフォンやタブレット等の講習会などではご協力できると思います。
- ・ また、その他の取組のところで「センサー等を使ったスマート農業」については研究対象としても面白いことができるのではないかと、何か協力出来たらよいと思います。

(会長)

- ・ スマート農業について、周南市は非常に広く、東京都と同じ面積の中で農業も盛んな土地柄です。
- ・ このスマート化に徳山高専の協力があるとよいと思いましたので、事務局と連絡を取りながら進めていけるとよいと思います。

(委員)

- ・ 大学では今年度「地域DX教育研究センター」を立ち上げたので、積極的に活用してもらいたいと思っています。

- ・ スマート農業については、実際にこの「地域DX教育研究センター」が関わらせてもらっていて4名の職員が担当しています。まだまだ始まったばかりで結果は出ていませんが、協力できることについて協力していきたいと思っています。

(会長)

- ・ 大学においても「地域DX教育研究センター」を立ち上げたということで、今後関係ができてくることが予測されますが、事務局から補足等ありますか。

(事務局)

- ・ デジタルデバイド対策の分野でのご協力やスマート農業についてご意見をいただきました。
- ・ スマート農業については実際に周南公立大学と連携しながら進めていくところです。スマートシティを進めていく中で、デジタル技術やデータの利活用という部分で専門的な知見を持つ、周南公立大学や徳山高専と相談しながら進めていくという意識をもって取り組んでいきたいと思っています。

(会長)

- ・ これだけ取組が進んでくるとデータも蓄積してくるので、ぜひいろんなデータを周南公立大学や徳山高専と共有することで施策の立案に一つでも二つでもつながっていくとよいと思います。
- ・ また、今回の資料はよくまとまっていてわかりやすかったように思います。
- ・ やはりこれまではモデル地区での活動が基本としつつも、周南市全体としては海から山までかなり広いので、このモデル地区事業の中では、できるだけこのモデル地区に「教育を通じて皆さんが体験できるような場」を作りたいと思っています。GIGAスクールには、私も色々な所で関わっていますが、今のお子さん達のレベルはとんでもなく高いので、ぜひモデル地区で、様々な地域の状況や強み、弱みを実感できるような学びの場、これをスマートシティ・デザインセンターといったりもしますが、そのような場を作り上げるということを意識しながら、取組を着実に積み上げ、活動を展開して欲しいと思います。特に今年度の受注者である復建調査設計株式会社の方や市の事務局には苦勞を掛けるとは思いますが、ぜひ頑張りたいと思っています。
- ・ それでは、議題2「統合型GIS導入に係る分科会設置について」を事務局より説明をお願いします。

(事務局)

(「資料2 統合型GIS導入に係る分科会設置について」に沿って説明)

(会長)

- ・ 市では統合型GIS導入についてこのような体制で進めるという話であったと思います。
- ・ 山口県との連携という話もあったと思うのでぜひオブザーバーから一言ご助言いただきたいと思います。

(オブザーバー)

- ・ GISというとやはり専門的な分野だとは思いますが、地図の活用についてはオープンデータの活用を含め、進められているところだと思っています。
- ・ 山口県でもオープンデータをどう活用し、地図上にどう表現していくかなどを検討し3Dマップの活用も含め実証する動きもあります。
- ・ 周南市においても、色々な観点から検討できると考えていますし、防災や人流の分野でも活用ができると思うので、分科会の中でも活用用途についてしっかり議論しながら進めてもらえればと思っています。

(オブザーバー)

- ・ GISの導入については他の自治体でも事例が増えてきているのは実感しています。
- ・ 重要なのは他部署との連携を如何にとっていくのか、データをどのように構築していくのかになってくると思います。
- ・ 横のつながりをもった推進体制を敷いて、うまく稼働するように作り上げていく必要があるので、私の方でもサポートできればと思っています。

(会長)

- ・ やはり、色々な部局が使えるものにしていくことは重要だと思います。推進体制の中にも大学や高専がせっかく入っていますので、市の色々な部局で使うだけではなく、教育の分野にどのように活用できるのかについても考えてみて欲しいです。
- ・ 共通部分のプラットフォームだけではなく、データを溜めていくことで力を発揮するところが、このスマートシティにおけるGISの一番大きな特徴であると思いますので、統計データとしての視点も持ちながら分科会の中でしっかりと議論していただければと思います。
- ・ それでは、次の議題について事務局から説明をお願いします。

(事務局)

(「資料3 今年度事業の活動方針及びスケジュール等について」に沿って説明)

(会長)

- ・ 周陽地区と遠石地区それぞれの小学校での活動、河川の監視の事業、生活情報に関するニーズ整理の3つだったと思います。
- ・ 最後の生活情報におけるニーズ整理ではこれまでで少し聞き取れていなかったところなどについてしっかり整理していこうというところだと思います。
- ・ 計画としては結構絞ってあり、あまり浮付いたところはないように思います。しっかりと事業者と市で議論されていて、手堅くて良い印象を持ちました。
- ・ 委員の皆さまから何かご意見はありますか。

(委員)

(特に意見等なし)

(会長)

- ・ 1点だけ私からですが、周陽地区と遠石地区のそれぞれの小学校で授業をやっていくことになると思います。間違いなく上手くいくとは思いますが、全体の計画の中ではスマート農業や臨海部のコンビナートとか、市域全体でみれば周陽と遠石には無い特徴もあります。
- ・ 例えば、「お父さんがそこで働いている」とか「お祖父ちゃんが農業をやっている」など、色々な子ども達がいると思いますが、今回のプログラムの中で、対象校区外の情報についてどのように考えているのか、市の事務局か事業者に考えがあればお聞かせいただきたいと思います。

(事務局)

- ・ 今年度については、5年生が総合学習の中で作成する「安心マップ」又は「安全マップ」をベースに取り組みたいと考えています。
- ・ 教育委員会の見解も加味して検討する必要があるとは思いますが、昨年度までのワークショップ等の中でも地域資源の可視化に関する意見をいただいております、市としても地域資源や地区外のことについて知ることは、子ども達の教育において重要なことだと考えているので、将来的にはそこまで広げていければと考えています。
- ・ 今年度については、7月早々に学校との協議を予定していることから、現時点ではどこまで手を加えられるかが不明です。
- ・ デジタル技術を導入することで時間に余裕が生まれ、他の事を組み込める可能性はありますが、あくまでも推測でしかありませんので、この場では明言できません。
- ・ いずれにしても、いただいたご提案は子ども達の学習の幅を広げることにつながり、良いことだと思うので、将来的には取り組んでいきたいと考えています。

(会長)

- ・ 私も子どもの頃、目の前にあった川の源流が気になり友人と 40 キロメートル位逆上ったことがあります。そういうことをやるという話ではないですが、子どもの想像力は無限大だと思います。
- ・ もちろん、足元の地域をまず知ることが学習指導要領には書いてあると思いますが、周南市が広いことを知る場を作ることも大切だと思うので、授業を繰り返し実施していく中で工夫ができそうなら、コンビナートや農業のことについてのインプットに 1 回か 2 回取り組んでみてもらえるとよいと思います。
- ・ 非常に手堅い計画だと思いますが、深掘りしようと思えばいくらでも深掘りできそうなども素晴らしい計画だと思うので、ぜひ頑張ってもらいたいと思います。
- ・ それでは、次の議題の説明をお願いします。

(オブザーバー)

(「資料 4 周南緑地の P F I 事業について」に沿って説明)

(会長)

- ・ 皆さま非常に関心のあるところだと思います。
- ・ スポーツ施設ということで、周南市体育協会として何かコメントがあればお願いします。

(委員)

- ・ 我々も関連競技団体も周南緑地がここ何年かで新しく生まれ変わるというところで非常に楽しみにしているところです。
- ・ 競技団体からすれば、これまで古い施設で活動してきているので色々と注文があるかもしれませんが、市民の皆さまに末永く愛してもらえるような施設になることを願っています。
- ・ また、子ども達の立場からいうと、このような新しい施設で幼少期からスポーツ活動ができるということはまたとないことだと思います。プールに関しても 50 メートルではなく 25 メートルの規格での整備を計画されていて、地域に根差したスポーツ施設にさせていただいてると感じているので、いいものになればと思います。

(委員)

- ・ 野犬には注意してもらえたらと思います。

(会長)

- ・ 地元のワークショップ等に参加する中で、オリンピックを契機に子ども達がやりたいスポーツが変化してきていると感じています。色々なニーズに応えるのは大変だとは思いますが、考えてもらえればと思います。
- ・ 周陽、遠石地区でもせっかくモデル地区として色々な取組が実施されているので、先ほど言ったデザインセンター又はデザインスクールを作るのであれば、こういった施設の中に作るということもイメージできようかと思っています。
- ・ 地元のニーズを汲み取る際には、図面等も示していただきながら市や復建調査設計株式会社、地元の皆さまと一緒にモデル地区で何を形にしていくのかを考えていければと思います。
- ・ 予定された議題は以上です。復建調査設計株式会社は初めての参加であると思うので、ぜひ一言いただければと思います。

(事業者)

- ・ 弊社はまちづくり、地域が抱えている課題を、ソリューション等を活用して解決する取組を中心に事業をしている建設コンサルタントです。
- ・ 今回の業務について、特に地元の方々はこれまで様々な取組を実施してこられたと思いますが、改めてしっかりと足並みを揃えて声を聞きながら進めて参りたいと考えています。

(会長)

- ・ それでは、進行を事務局に戻します。

(事務局)

- ・ 地域の皆さまには、企画段階や調整段階でお声がけすることがあると思うので、ご協力をお願いします。
- ・ 第8回の協議会は令和5年秋の開催を予定しています。開催日時は確定し次第ご連絡します。

5. 閉会

(事務局)

- ・ 以上で第7回周南市スマートシティ推進協議会を閉会します。

以上